

映画「共鳴する魂 塙保己一伝」

ヘレン・ケラーが尊敬した日本人！



写真提供：公益社団法人 温故学会

日時：令和6年2月24日(土曜日)

時間：14:00～16:00

開場：13:40より

会場：神戸中央区文化センター1001号室
(〒650-0031 神戸市中央区東町115番地)

参加費：千円

講師：吉野 浩 株式会社ユニバーサルビジョン代表取締役。「世のため後のためプロジェクト」プロデューサー。著書「成功脳失敗脳」

●塙 保己一（はなわ ほきいち 1746年～1821年）：

現在の埼玉県本庄市児玉町に生まれ、江戸時代後期に活躍した全盲の国学者です。7歳の時、病気がもとで失明しましたが、15歳で江戸に出て学問の道に進みます。

多くの困難の中、大文献集「群書類従（ぐんしよるいじゅう）」

約670冊の出版を成し遂げます。貴重な古書の散逸を危惧し、それらを収集・編纂して出版することを34歳の時に決意。

1778年に編纂作業が始まり、保己一が74歳の時（1819年）に完成しました。群書類従の編纂の傍ら、国学の研究の場として

現在の大学とも言える「和学講談所（わがくこうだんしょ）」

を設立し、多くの弟子を育てました。生涯、自分と同じように障害のある人たちの社会的地位向上のために全力を注ぎました。



塙保己一が編纂した群書類従



『群書類従』（ぐんしよるいじゅう）は、塙保己一が古書の散逸を危惧し、菅原道真を祀る北野天満宮に刊行を誓った。江戸幕府や諸大名・寺社・公家などの協力を得て、収集・編纂した。古代から江戸時代初期までに成った史書や文学作品、計1273種（竹取物語・源氏物語・紫式部日記等）を収めている。

版木は、17,244枚（裏・表両面彫りであるから約34,000ページ分）、版木の文字数は400文字詰め様式にした。これが原稿用紙の起源といわれている。